

多彩な執筆陣による多角的な構成！
生態から利用までを網羅した、初の海藻読本！

緑 水産学叢書
第2弾！

21世紀の海藻資源

—生態機構と利用の可能性—

大野正夫 編著

●A 5判 280頁 ●定価：本体3,689円(税別)



「豊かな海」の立役者であるばかりでなく、次世代の素材として、いま産業界の最も熱い注目を集める海藻資源。健康、環境への関心の高まる中、「海藻についての一般書を」との声に応え、遂に初の海藻読本が登場！

生態、環境、健康、化学、工学、医療等の研究者が最新研究成果を分かりやすく解説。今まであまり光の当たらなかった多方面にわたる海藻の利用法を探る。海藻生産者、漁場造成・水圏環境保全関係者、応用化学・食品メーカー必読の書！

内容

藻場(寺脇利信)／流れ藻と寄り藻(新井章吾)／磯焼け(藤田大介)／国際化する海藻資源(大野正夫)／海藻と健康・栄養(辻 啓介)／伝統的食品の寒天と新しい素材のカラギナン(平瀬 進・大野正夫)／海藻パルプとアルギン酸繊維の“紙”(小林良生)／カンキツ類の生産と海藻資源(白石雅也)／飼料に利用される海藻(中川平介)／磯の香りと性フェロモン(梶原忠彦)／海藻から抽出されるレクチン—細胞を見分けるたんぱく質—(堀 貫治)／海藻から抗酸化性物質の生産(浪岡日左雄・松家伸吾)／海藻から抗菌性成分の探索(越智雅光)／海藻からの抗癌活性物質(山本一郎・丸山弘子)

図鑑 海藻の生態と藻礁

徳田 廣・川嶋昭二・大野正夫・小河久朗 編
●B 5判 198頁 ●定価：本体14,369円(税別)

本書は、天然の海で海藻がどのような姿で生えているのかをつぶさに見てとることの出来る海藻生態図鑑であると同時に、人為的に投入した藻礁に如何にして海藻を生やすか、を紹介した世界に例のない図鑑でもある。藻場造成にかかわる方々はもちろんのこと、海洋環境の保全に意欲と関心をお持ちの一般の方々にも、本書は幅広く受け入れられるであろう。

英文版も
完成！

—A Photographic Guide—
Seaweeds of Japan

●定価：本体14,563円(税別)

海藻資源養殖学

徳田 廣・大野正夫・小河久朗 編
●B 5判 354頁 ●定価：本体5,505円(税別)

海藻の資源や養殖から、藻場造成、利用法、海外での養殖等に至るまで、実に幅広い観点から初めて総括的に海藻を論じた、研究者・学生・養殖業者待望の書!!

内容

地球生態系と海藻／海藻の生育環境／海藻の利用／世界の海藻資源と生産量／現在の海藻養殖／藻場造成／海外の海藻養殖の現状／海藻養殖の将来と展望／むすび

■消費税は別途加算されます。

緑書房

〒171 東京都豊島区池袋2-14-4 池袋西口スカイビル8F
TEL 03(3590)4441(販売部) FAX 03(3590)4446

陸上植物の起源

—緑藻から緑色植物へ—

グラーハム 著

渡邊 信, 堀 輝三 共訳

A5判・376頁・本体価格4800円(税別)

1. 陸上植物の起源—はじめに— 2. シルル紀前期とオルドビス紀後期の環境 3. 陸上植物の初期進化へのアプローチ 4. シャジクモ藻綱 5. シャジクモ類の形態・生態・生理 6. シャジクモ藻綱と陸上植物のギャップ 7. 植物形態の進化: 細胞壁・細胞骨格・細胞質分裂・細胞間応答・組織形成 8. 植物の有性生殖の進化 9. 植物のシグナル伝達系・植物ホルモン・光形態形成・二次代謝の起源 10. 陸上植物の起源—まとめ—

藻類の生活史集成

堀 輝三 編

第1巻 緑色藻類 B5判・448頁(185種) 本体価格8000円(税別)

I(狭義の)緑藻綱 IIアオサ藻綱 III車軸藻綱 IV所属網不明群 Vプラシノ藻綱

第2巻 褐藻・紅藻類 B5判・424頁(171種) 本体価格8000円(税別)

I褐藻綱 II紅藻綱

第3巻 単細胞性・鞭毛藻類 B5判・400頁(146種) 本体価格7000円(税別)

I渦鞭毛藻 II黄金色藻綱 IIIシヌラ藻綱 IVハプト藻綱 Vクリプト藻綱 VIラフィド藻綱 VII真眼点藻綱 VIIIミドリムシ藻綱 IXクロララクニオン藻綱 X黄緑色藻綱 XI珪藻綱

日本の赤潮生物

—写真と解説—

福代・高野・千原・松岡 共編

B5判・430頁・本体価格13000円(税別)

収録種は、藍藻8種、クリプト藻2種、渦鞭毛藻7種、珪藻85種、ラフィド藻9種、黄金色藻6種、ハプト藻4種、ユーグレナ藻8種、プラシノ藻5種、緑藻1種、原生動物2種の計200種。まず写真・図があり、続いて写真説明、和文記載、英文記載、文献が続き、1種見開き2頁にまとめる。写真は、それぞれの研究者が研究のために整理して秘蔵していたもの、および本書用として新たに制作したもの等から成る。和文記載は以下の特徴を順に記す。1.細胞の性状、外形と大きさ 2.細胞構造 3.生殖法、生活史 4.生態と分布 5.類似種との比較、分類学的位置、学名の変遷 6.その他

日本海藻誌

岡村金太郎 著

B5判・1000頁・本体価格30000円(税別)

日本の海藻学の先駆者が、ライフワークとして集大成。海藻学の全般が理解できると同時に、精密克明な解説と実地調査による体系的著述により、さらに発展への糸口も与える不朽の名著。

植物組織学

猪野俊平 著

B5判・727頁・本体価格18000円(税別)

植物組織学の定義・内容・発達史から研究方法、組織細胞、体制と組織へと詳述した植物組織学の決定版。詳細な本文と克明に描写した700余に上る挿図、82頁にわたる学術名・人名・学名・和名の4種の索引を備える。

近刊のお知らせ

原生生物の世界

細菌、藻類、菌類と原生動物の分類

丸山 晃 著

藻類多様性の生物学

千原光雄 編著

淡水藻類写真集 18巻

山岸高旺・秋山 優 編集

重版出来 日本淡水藻図鑑

廣瀬弘幸・山岸高旺 編集

B5判・960頁・本体価格38000円(税別)



内田老鶴園

〒112 東京都文京区大塚3-34-3

表示の価格は本体価格ですので、別途消費税が加算されます。

TEL 03-3945-6781 FAX 03-3945-6782

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい。(価格は送料を含む)

1. 「藻類」バックナンバー 価格、会員各号 1,750 円、非会員 3,000 円、30 巻号 (創立 30 周年記念増大号、1-30 巻索引付き) のみ会員 5,000 円、非会員 7,000 円、欠号 1-2 巻、4 巻 1, 3 号、5 巻 1, 2 号、6-9 巻全号。
2. 「藻類」索引 1-10 巻、価格 会員 1,500 円、非会員 2,000 円、11-20 巻、会員 2,000 円、非会員 3,000 円、創立 30 周年記念「藻類」索引、1-30 巻、会員 3,000 円、非会員 4,000 円。
3. 山田幸男先生追悼号 藻類 25 巻増補. 1977. A5 版, xxviii+418 頁。山田先生の遺影、経歴・業績一覧・追悼文及び内外の藻類学者より寄稿された論文 50 編 (英文 26, 和文 24) を掲載、価格 7,000 円。
4. 日米科学セミナー記録 Contributions to the systematics of the benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編. 1972. B5 版. xiv+280 頁, 6 図版. 昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20 編の研究報告 (英文) を掲載。価格 4,000 円。
5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究 1977. B5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

1997 年 3 月 5 日印刷

1997 年 3 月 10 日発行

© 1997 Japanese Society of Phycology
日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

Printed by Hokudai Insatsu

編集兼発行者

堀 口 健 雄

〒 060 札幌市北区北 10 条西 8 丁目
北海道大学大学院理学研究科
Tel. 011-706-2745
Fax. 011-746-1512
email. horig@bio.hokudai.ac.jp

印刷所

北 大 印 刷

〒 060 札幌市北区北 8 条西 7 丁目
Tel. 011-747-8886
Fax. 011-747-8807

発行所

日 本 藻 類 学 会

〒 184 東京都小金井市貫井北町 4-1-1
東京学芸大学生物学教室内
Tel. 0423-25-2111 (内線 2672)
Fax. 0423-24-9832

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruï)

第45巻 第1号 1997年3月10日

目次

加藤季夫・大島海一：Zygnema extenuae Jao の有性生殖を誘起する要因	1
田中次郎：褐藻（コンブ目，ヒバマタ目，アミジグサ目）の 分布にもとづく海藻相解析	5
新井章吾・寺脇利信・筒井 功・吉田忠生：ツルアラメのタイプ標本および ツルアラメとクロメの根の形態形成の比較	15
研究技術紹介 藻類の光合成研究法シリーズ-4 佐藤 朗・小林 寛・白岩善博：光合成キネティクス研究法—微細藻類の 光合成による”CO ₂ ”の利用および固定特性の解析—	21
秋季シンポジウム要旨	
四井敏雄：長崎県下における磯焼けとその回復のための技術的課題	29
当真 武：礁池におけるモズク類2種の生態と養殖	30
藤田大介：ナホトカ号の事故で流出した重油の沿岸漂着と海藻 —石川県での1カ月—	31
榎本幸人・川井浩史：「瀬戸内海海産藻類標本集」(The marine Benthic Algae of Seto Inland Sea, Japan) の刊行	33
横山亜紀子：「藻類の多様性研究とハーバリウム，エキシカータ」参加記	35
書評・新刊紹介	
渡辺 信：日本海洋プランクトン検索図説（千原光雄・村野正昭編）	36
英文誌 Phycological Research 44巻4号掲載論文和文要旨	37
田中次郎：自然史学会連合総会報告	40
堀口健雄：ご存じですか？ガイアリスト21	42
学会・シンポジウム情報	43
プログラム	
アジア地域の微生物研究ネットワークに関するシンポジウム	45
石川依久子：ごあいさつ	49
学会録事	50
日本藻類学会和文誌投稿案内	53
日本藻類学会第21回大会（1997）東広島（プログラム・講演要旨）	57